

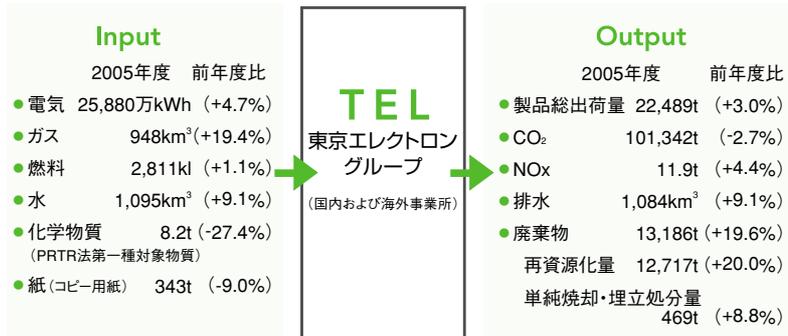
環境負荷の全体像／環境会計

環境負荷の全体像および環境会計を正確に把握し、マネジメントに生かしています。

■ 環境負荷の全体像

東京エレクトロングループは事業活動を行うに当たり、多くの地球資源を必要とします。右記は、当社グループの製造系事業所および事務所系事業所における物質フローになります。特徴として、製品評価時の環境負荷が大きいことがあげられます。これは、半導体製造工程と同様に電力および様々なガス薬品などを使用して装置を評価しているためです。

Input-Output



■ 環境会計

集計範囲:東京エレクトロングループ国内主要事業所(札幌、東北、宮城、赤坂、府中、横浜、相模、穂坂、藤井、尼崎、大阪、佐賀、熊本、合志、大津)
集計期間:2005年4月1日~2006年3月31日
当社グループの環境会計は「環境会計ガイドライン(2002年版)」および「環境会計ガイドブックII」(環境省)に準拠しています。

2005年度環境保全コスト

(千円)

項目	主な取り組みの内容	設備投資額	経費合計
1. 事業エリア内コスト		189,127	753,803
内訳			
1.1 公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染防止など	65,719	330,228
1.2 地球環境保全コスト	温暖化防止、オゾン層保護など	123,408	35,364
1.3 資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物減量化など	0	388,211
2. 上・下流コスト	グリーン購入、グリーン調達など	5,538	89,474
3. 管理活動コスト	環境教育、環境負荷の監視・測定など	12,852	183,974
4. 研究開発コスト	製品の研究開発など	0	1,721,077
5. 社会活動コスト	緑化、地域の環境活動支援、情報開示など	0	79,134
6. 環境損傷コスト	自然破壊の修復など	0	0
7. その他のコスト	その他	0	0
合計		207,517	2,827,462

2005年度環境保全対策に伴う経済効果

(千円)

環境保全コストの分類	内容	金額	
費用削減	・電力およびその他のエネルギーについての効果	電力使用量の削減(例:冷凍機インバーター化工事による効果)	126,763
	・水についての効果	水の使用量の削減(例:冷却水の循環利用)	1,953
	・紙についての効果	紙の使用量の削減(例:両面コピーの奨励、電子化)	732
	・各種資源についての効果	重油やガスなどの使用量の削減	△734
	・その他についての効果	液体窒素やコピー用トナーの使用量の削減	103,240
	・廃棄物に関する効果	廃棄物処理量の削減	△168,242
費用削減合計		63,712	
収益	・廃棄物に関する効果	有価物の処理に伴う収益など	2,389
収益合計		2,389	
合計		66,101	